

# 令和4年度 学校経営方針

京都市立紫明小学校

京都市の目指す子ども像

伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を創造する子ども

重視する視点

子ども「主体性」と「社会性」の育成を目指し、「自ら学ぶ力」と「自ら律する力」を  
学校・幼稚園全体の教育活動の中で高める

## 1. 学校教育目標

育てよう 子どもの思い・思いやり

### めざす子ども像

- しっかり聞こうしっかり話そう（相手の思いを受けとめよう、自分の思いを表そう）
- あてに向かって取り組もう（自分の希望を叶えるために実践・行動しよう）
- いろんな人と仲良くしよう（いろいろな人の思いを尊重し、分かり合おう）

### めざす学校像

- しっかり聞いてしっかり話す学び合いができる学校
- あてに向かって実践・行動し、ともに成長できる学校
- いろんな人と仲良くし、楽しさや喜びを分かち合う学校

### めざす教職員像

- しっかり聞きしっかり話すために、学び合い繋がり合える教職員
- あてに向かって実践・行動するために、自己研鑽に励み切磋琢磨する教職員
- いろんな人と仲良くするために、人権感覚を磨き、幅広い心をもてる教職員

## 2. 学校運営の柱 ~全教職員で進める確かな学校教育~

### (1) いのち ~子どもの命を守りきる~

○ 命・心・体を大切にする子どもの育成

○ 子どもが安心して生き生きと活動できる環境の確保

○ 学校事故の防止と適切な救護措置

○ いじめ・暴力・薬物乱用・虐待・情報等から子どもを守る取組

○ 感染防止対策の徹底、リスクに対する判断力と適切な行動力の育成

○ 自然災害に関する知識を身に付け、自分の命を守るために主体的に行動する態度の育成

**(2) よりそい ~多様な子どもを誰一人取り残さない教育を進める~**

- 個に応じた適切な配慮や支援の充実
- 人権教育4つの視点をふまえた子ども一人一人の人権を保障する取組
- 福祉的な観点の支援が必要な子どもへの対応
- 不登校対策の取組
- 医療ケアを必要とする子ども、日本語指導が必要な子どもへの支援

**(3) つとめ ~教職員の職責を自覚し、研鑽することで、教育の質を高める~**

- 社会的責任と教育公務員としての責務を常に意識した言動
- 教職員自身が人間性、創造性、専門性を高める
- 互いに学び合い、高め合い、相談し合える、風通しの良い職場づくり
- 自らの働き方への意識改革
- 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善の実践
- 教職員の資質・指導力向上

**(4) ひろがり ~カリキュラム・マネジメントの視点をもって社会に開かれた教育課程を実現する~**

- 地域・保護者の学校教育への参画、地域の教育力を生かした学習の創造
- PTA・運営協議会、その他関係機関との連携・協働の推進
- 「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた PDCA サイクルの展開
- 家庭教育講座などを通して保護者への支援の充実
- 子どもの居場所つくり

**(5) つながり ~校種間連携・接続により子どもを支える~**

- 保幼小交流による幼児期の学びと育ちの理解、スタートカリキュラムの充実
- 「加茂川中学校ブロック」で 9 年間の育ちを見通した学習指導・生徒指導の推進
- 個に応じた切れ目のない指導・支援

### 3. 学校教育の柱 ~「生きる力」を育む15の取組 知・徳・体が調和した教育~

#### 「確かな学力」の育成

##### ①社会とのつながり・接続を実感できる授業への改善

- ・学習活動の基本となる学びの約束やルールの徹底、意欲的に学ぶ集団づくり
- ・楽しくわかりやすい授業の創造
- ・学校での学びと家庭・社会とのつながりを実感できる授業の工夫 \*SDGsの理念
- ・観点別学習状況評価に基づく「指導と評価の一体化」の充実
- ・京都市スタンダード(教育課程指導計画)に基づく、児童の学びを主体とした学習活動
- ・全国学力・学習状況調査、ジョイント・プレジョイントプログラムの分析に基づく授業改善
- ・小中9年間の学びを見通した指導の充実 \*加茂川中学校ブロックの取組の推進

##### ②基礎的・基本的な知識・技能の習得と言語活動の充実

\*既習の学習内容との関連付けを重視した知識・技能の習得

\*知的好奇心に支えられ実感を伴った理解となる活動(調べ学習、観察・実験、レポートの作成等)

##### ・自学自習する子の育成

- 朝学習、ぐんぐんタイム(1~3年生)、紫明漢字検定
- 家庭学習の取組(予習・復習・自主学習)

##### ・プログラミング的思考の育成

- ・ICT機器の日常的・積極的・効果的な活用
- ・国語科における言語能力の育成 →紫明タイムの見直し
- ・発達段階に応じた「言語活動」の設定と、めあてに応じたまとめと振り返りの徹底
- ・「学習・情報センター」「読書センター」としての学校図書館の活用

##### ③探究活動を通した、主体的・対話的で深い学びの実現

- ・自ら課題や疑問点を設定し、解決までの過程を大切にした探究活動の推進
- ・多様な学習形態を取り入れた、主体的・対話的に問題解決を図る学習の推進

##### ④グローバル化時代に対応する実践的英語力の育成

- ・日常的に英語に触れる機会や、英語によるコミュニケーションが求められる環境の設定  
→イングリッシュシャワー、今月の英語の歌、ALTや英語専科の活用、英語での教室表示
- ・京都市の小学校英語活動の取組
  - (低)外国語学習への動機づけ(話す・聞くことへの親しみ)
  - (中)聞く・話すことの英語活動の充実
  - (高)聞く・話すことに、読むこと・書くことを加えた言語活動の充実

##### ⑤LD等支援の必要な子どもの学力向上

- ・個別の指導計画を活用した学力・行動面の支援

- ・「ひらがな聞き取りテスト」の実施(2年生)と支援

- ・通級指導教室でのまなびと連携

#### 「豊かな心」の育成

##### ⑥道徳教育の充実

- ・しなやかな道徳教育(認め合い伸ばし合う、共通して守るべきものはしっかり身に付ける)

・自己の生き方についての考え方を確立する活動の意図的・計画的な実施

\*子どもの日常の行動に顕在化させる。

・道徳教育推進月間(6月・10月)

⑦伝統文化や芸術を通じ、豊かな感性・情操を育む教育の充実

・地域ボランティア、社会福祉協議会との連携

→お茶の先生による月ごとの生け花、葵祭についてのお話と行列見学、七夕の集い、

雅楽体験、ひな祭りの集い、卒業を祝うお茶会等

⑧規範意識の育成

・あいさつの励行、学習規律の徹底、基本的生活習慣の確立

→児童会のあいさつ運動、サンサンさわやかウィーク

・問題行動に対し、子ども同士で温かい正義感をもって注意し合える関係作り

・各学年での情報モラル教育、薬物乱用防止教室(5・6年生)、非行防止教室の実施(4年生)

・スマホ・ゲーム依存防止

⑨多様性を理解する姿勢の汎用

・障害についての正しい理解と認識

・民族や国籍の違いを越えた、文化・伝統の多様性と相互の主体性の尊重

・性同一性障害や性自認・性的指向にかかる子どもへのきめ細かな対応

→人権教育の充実、保護者との連携(啓発・懇談会の工夫)

⑩支え合い、高め合う集団づくりの推進と絆づくり

・生徒指導の三機能で関わる教育活動の推進

\*「自己決定の場を与える」「自己存在感を与える」「共感的な人間関係を育成する」

・主体的・自発的かつ異年齢で活動できる集団

→児童会活動の取組、たてわり活動によるリーダーの育成

・いじめをしない・させない学級・学校集団

→「学校いじめの防止等基本方針」の共通理解

・不登校状態にある子どもへの支援 \*SC,SSW等 専門職との連携

### 「健やかな体」の育成

⑪運動やスポーツの実践と体力の向上

・運動する子としない子の二極化の解消

・偏りのある体力実態の改善

→マラソン大会、(大縄大会)、すいすいあそび、健康委員会による体うごかし大会

体育の授業におけるバランスよい運動能力の育成

⑫保健教育の充実

・基本的生活習慣の確立

→サンサンさわやかウィーク、歯磨き指導

・新たな感染症・病気やけがに対する正しい理解力と、自身の健康を保持・増進しようとする意識・態度の育成

→保健学習、養護教諭による保健指導

・性に関する指導

- 全学年で実施 \*保護者の理解を得ながら
- \*発達段階に応じた指導の目的・内容、取り扱いの方法を検討

⑬飲酒・喫煙・薬物に関する指導

- ・飲酒・喫煙・薬物の有害性・危険性や医薬品についての正しい知識と、生涯にわたっての行動に結びつく指導の徹底
- ・違法薬物が子どもの身近に迫っているという強い危機意識の教職員・地域・保護者との共有  
→薬物乱用防止に関する研修会  
→薬物乱用防止教室の参観、家庭教育学習の実施

⑭安全教育の充実

- ・「生活安全」「交通安全」「災害安全」の計画的な指導
  - \*様々な危険から自分と他者を守るための知識と判断力の育成
  - 「安全ノート」の活用
  - 北警察署・交通安全対策協議会と連携した自転車安全教室(3・4年生)と下校指導(1年生)
  - 危機管理マニュアルに基づいた防災訓練・避難訓練の実施

⑮食に関する指導の推進

- ・栄養教諭と連携した食育の充実(生産者や調理者への感謝、生命尊重、和食文化の継承)
- ・食物アレルギーのある子どもへの組織的な対応と連携

## ☆加茂川中学校ブロック小中一貫教育構想

「小中一貫教育構想図」で周知

\*加茂川中学校ブロック…加茂川中学校、紫竹・上賀茂・元町・紫明小学校

- 【目指す子ども像】
- 自分を大切にし、人を大切にする児童生徒
  - 互いの立場や違いを認め合い、集団の中で成長できる児童生徒
  - 夢や希望をもった児童生徒
  - 人とのつながりを豊かにする「あいさつ」ができる児童生徒

【具体的な取組】

- 小中一貫の「学校運営協議会」を組織する。
- 道徳・教科指導を中心とした小中合同主任研修会・公開授業を実施していく。
- 小中教職員の分掌ごとの連携会を継続して実施し、教職員の連携と情報交流を進める。
- 小学生の中学校体験や児童会・生徒会の交流等を行い、小中の接続がスムーズにできるようにする。
- 地生連事業の小学生の中学校部活動体験に協力していく。
- 小中で標語コンクールを行い、加茂川中学校区の児童生徒の共通目標を共有する。
- 小中学校の互いの活動を発信し、成長への希望につなげていく。
- 小中学校で共通の「学習規律」の作成、共通の「掲示物」「コミュニケーションカレンダー」等の作成を始める。